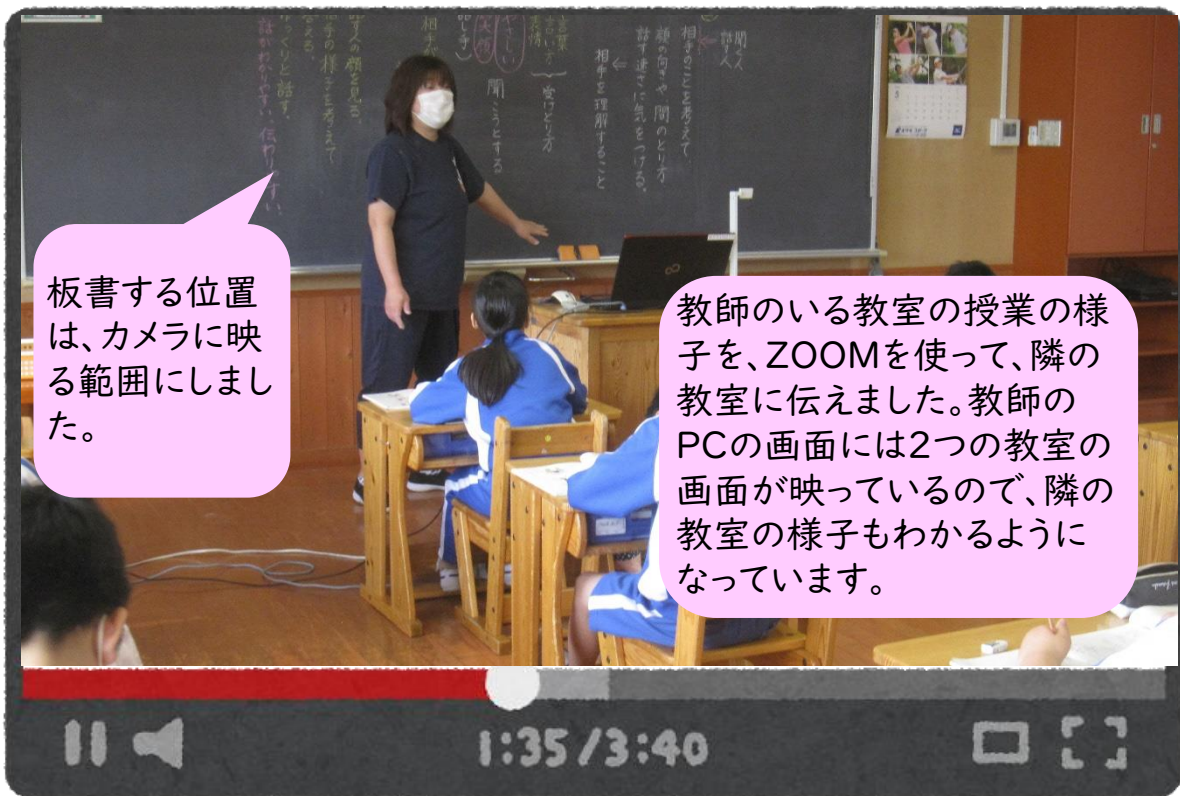


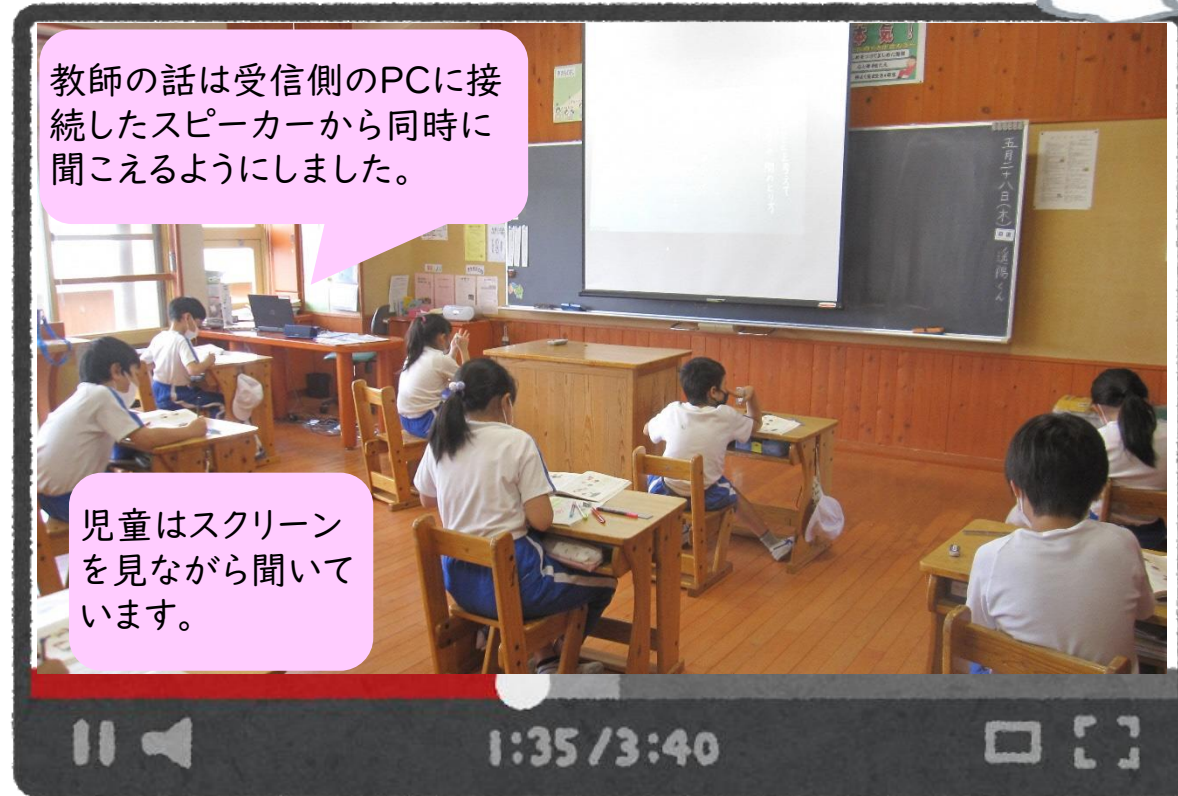


ソーシャルディスタンス確保のために、ICTを活用し、クラスを分割した授業 会津美里町立宮川小学校



板書する位置は、カメラに映る範囲にしました。

教師のいる教室の授業の様子を、ZOOMを使って、隣の教室に伝えました。教師のPCの画面には2つの教室の画面が映っているので、隣の教室の様子もわかるようになっています。



教師の話は受信側のPCに接続したスピーカーから同時に聞こえるようにしました。

児童はスクリーンを見ながら聞いています。

取組の実際

人数が30名の学級において十分なソーシャルディスタンスを確保するため、全ての教室にプロジェクターとスクリーンが設置されているという本校の強みを生かし、隣り合う2つの教室に児童を分散させ、授業を行いました。1日交替で担任が実際に入る教室を変えて授業を行うとともに、担任がいない教室でも、授業に参加している感覚が味わえるように、スピーカーとカメラとマイクを設置し、児童の発言を拾えるように工夫しました。

この取組は、学校だよりやホームページを活用して発信し、保護者の方々の理解を得ています。